

# 進路だより

新学期スタート号

平成29年4月10日発行  
福島県立郡山高等学校進路指導部

いよいよ新学期の始まりです。卒業後の進路目標を設定して、この1学期に何をすべきかを具体的に考えましょう。裏面の先輩の文章を参考にしてください。

ご入学・ご進級おめでとうございます。今年度最初の「進路だより」は、平成28年度卒業生の進路状況をお知らせします。昨年度は国公立大学に83名が合格（郡山高校の記録更新）しました。特に2月の前期日程では、金沢大学や新潟大学など47名の先輩が最後まで自分を信じて希望を実現させました。また、私立大学でも、多くの先輩が立教大学や同志社大学などの難関大学への合格を果たしました。皆さんも、自分の進路目標をしっかりと設定して、1日1日を悔いのないよう大切に過ごして欲しいと思います。今日はその第一歩にしてください。

## 【平成28年度 合格状況 (3月31日現在)】

国公立大学	人数
北見工業大学	1
北海道教育大学	2
秋田大学	3
山形大学	5
福島大学	25
茨城大学	2
筑波大学	1
宇都宮大学	3
埼玉大学	2
横浜国立大学	1
新潟大学	11
金沢大学	1
島根大学	1
高知大学	1
釧路公立大学	1
岩手県立大学	2
秋田県立大学	2
宮城大学	2
福島県立医科大学	3
会津大学	6
前橋工科大学	1
千葉県立保健医療大学	1
新潟県立大学	4
長岡造形大学	1
名桜大学	1
合計	83

主な私立大学	人数
札幌学院大学	3
岩手医科大学	1
仙台大学	1
東北医科薬科大学	2
東北学院大学	33
東北福祉大学	26
宮城学院女子大学	6
日本大学(工学部)	18
奥羽大学	2
国際医療福祉大学	8
白鷗大学	14
獨協大学	7
文教大学	9
神田外語大学	4
千葉工業大学	2
青山学院大学	4
大妻女子大学	1
学習院大学	2
国立音楽大学	1
國學院大學	1
国土館大学	3
駒澤大学	2
実践女子大学	2
順天堂大学	2
昭和女子大学	1
成蹊大学	1

主な私立大学	人数
専修大学	13
大東文化大学	7
拓殖大学	4
玉川大学	3
多摩美術大学	1
中央大学	2
東海大学	5
東京電機大学	2
東京農業大学	3
東洋大学	23
日本大学(除 工学部)	5
法政大学	10
明治大学	1
明治学院大学	7
立教大学	2
立正大学	2
神奈川大学	8
フェリス学院大学	2
新潟医療福祉大学	4
新潟薬科大学	1
同志社大学	1
龍谷大学	1
合計	340

大 学 校	人数
防衛大学校	1
合計	1

主な短期大学	人数
山形県立米沢女子短期大学	2
会津大学短期大学部	10
郡山女子大学短期大学部	2
桜の聖母短期大学	3
上智大学短期大学部	1
東京歯科大学短期大学	1
合計	20

主な専門学校	人数
太田看護専門学校	2
ポラリス保健看護学院	5
国立福島病院附属看護学校	4
公立岩瀬病院付附属高等看護学院	3
福島県立総合衛生学院	2
国際ビジネス公務員大学校	2
合計	31

就 職	人数
株式会社 福島銀行	1
自衛官候補生	1
郡山広域消防本部	1
合計	3

(裏面に続く)

# 合格体験記

## 新潟大学 工学部 工学科化学材料分野（前期日程）

この度合格体験記を書かせていただけることに、心より感謝申し上げます。他の合格者の皆様の体験記を拝見させていただきましたが、効率の良い勉強法やセンター試験の対策法、センター試験で具体的に何点伸びたか、などの内容が多く見受けられましたので、私は異なる分野の話をさせていただきます。

私はテニス部に所属していて、6月に引退しました。引退する前にすでに家庭学習を少しずつ始めてはいましたが、引退して勉強に本腰を入れられるようになったら、必ず成し遂げようと思っていたことがありました。それは、課外を絶対に休まない、ということでした。課外とは、一日の授業がすべて終わった後、プラス1時間だけ多く行う授業のことです。それはほぼ毎日あり、曜日ごとに教科が異なります。しかし、その課外は強制ではないので、途中で休んでしまう人が後を絶たないそうです。私は、先生方がわざわざ自分たちのために内容を考えている課外を休む人間が、目上の人の親切に感謝できない人間が、たとえ優秀な大学に合格できたとしても、社会にでて大成できるとは思えませんでした。だから、どんなことがあっても出席するつもりでした。しかし実際広い教室に四人だけしかいない時には心細く感じる時もあり、また周りの友達にも、「え！？今日の課外でんの？意味くない？」「いや俺は誘われても行かないよ、一人で行きな。」などと言われたこともあり、正直迷った時期もありました。家に帰って自分で勉強したほうが伸びるのではないかと自分の考え方よりも、皆の、志望校合格という結果を重んじる考え方のほうが正しいのではないかと。でも、絶対自分は間違っていない。ここで逃げたら後悔する。一度決めたことは貫き通せ。と、自分を奮い立たせ、何とか無休を達成して本番を迎えることができました。

しかし、センター試験一日目。いつもなら解けるはずの国語で、文字が頭に入ってこないという現象が起きました。このまま解けなかったら自分の人生が大きく左右されることが分かっていたので、この時初めて人生をかけて戦うということがどれほど恐ろしいものかを実感しました。さらに、次の日の試験会場の自習室で教科書を開くと、国語の失敗のせいで、そこに書いてある文字が怖くて読めなくなっていました。このままいったら二日目の教科全部0点になる、と直感しました。しかし、このまま自習室に居残り続けたところで、もっと怖くなるのが分かっていたので、気分転換に外に出て雪道を走り回りました。もうそれにかかるしか手がありませんでした。そんな時、進路指導部の先生が私のもとに歩み寄って下さり、勇気づけるとともに、私の震える手をぎゅっと強く握ってくださいました。その後再び自習室に戻ってきても、担任の先生と数学でお世話になった先生が、私のおびえる姿に心配して話しかけてくださいました。驚きました。驚きました。こんなにいろいろな人が自分のことを気にかけてくれている。勉強に集中しすぎて気づきませんでした。よく思い返してみると、廊下をすれ違った時に、声をかけてくれる先生、大学に進学して他県に住んでいるのに、福島に戻ってきたときわざわざ自分に合格祈願のお守りをくださる先輩、一緒に頑張ろう、と会うたび励ましてくれたテニス部のみんな、そして試験会場に到着してからもLINEで励まし続けている家族。いろいろな人とのつながりがより強くなっていることに気づきました。課外を休まないということがその原点でした。そう考えたとき、お前のやってきたことは間違っていなかったよ、よく頑張った。と、自分の頑張りが初めて認められた気がしました。うれしくて、ありがたくて、感動して、その瞬間涙があふれて止まりませんでした。もちろん自習室にそんな人は誰一人いませんでしたが、そんなこと構わずひたすら泣き続けました。試験開始10分前になって、ようやく泣き止むと、自然と恐怖も緊張もきれいさっぱり消え失せ、不思議と自信に満ち溢れていました。そのおかげで二日目は自分の力を全て出し切ることができました。

後日談なのですが、泣くという行為は副交感神経を刺激し、ストレスや緊張を解消する作用があるそうです。つまり、あのとき自販機の前で、また自習室で、先生が私のもとへ来てくださらなかったら、確実に二日目のテストは0点でした。自分の力では乗り越えられない困難に出会ったとき、それを助けてくれるのは周りにいる人々です。だから、点数だけにとらわれて休み時間も会話せずに勉強することや、授業中に自分のやりたい勉強をするのではなく、しっかり周りにいる人を大切にしてください。きっとあなたの助けとなってくれるでしょう。